

令和4年4月

職場拝見

株式会社アロン社



今回は未経験でありながらハローワークの面接会を通じて営業職として転職した 品川さん41才（仮名）に、会社を訪問して、入社後のことをおうかがいしました。



●営業職として働こうとしたきっかけは？

今まで技術系の仕事を含めて数回の転職も経験しましたが、年齢を考えたときに経験のない分野で技術職の腕を磨くことに限界を感じていました。令和3年7月にハローワークからアロン社の面接会に声をかけていただき、アロン社の仕事内容の丁寧な説明を受け、これまでの経験も活かせる営業職ではないかと感じました。

●やりがいを感じられる点、困った点は？

アロン社の営業は、加工技術の提案営業です。カタログ製品の販売ではなく、お客様の要望を当社の技術で製品化する仕事です。なのでお客様のニーズに合うものができたとき、やりがいを感じます。

反面、技術的にできることと、できないことがあります。アロン社ではできないとお断りするとき、お客様の残念な顔を見たときはつらいです。



●今振り返ってどうですか？



はじめの3か月は先輩方に手厚くフォローしていただきました。話し方や書類の書き方まで。また、はじめの2年間は結果を求めないと会社説明会時に言っていた事が営業職という新しい職種に挑戦する助けになりました。技術を売るにはお客様の要望に対してより良い提案を「予測して、準備すること」が大切だと考えています。今後も前職などで培った知識とスキルと経験を活かしつつ自身を高めていこうと思います。

●キャリアチェンジされる方にアドバイスはありますか？

新しいジャンルに飛び込むには勇気がいります。飛び込みたいと思っているのは自分、飛び込む理由をつきつめるのは自分です。なぜそのジャンルに挑戦したいのか？をしっかりと自己分析して自分自身を後押しする一助にしてみるといいのではないのでしょうか。

人事担当から：仕事には向き不向きがあるが、品川さんは当社の営業に向いているところが多々あった。営業の社員からは飲み込みが早い、理解力が高いと聞いている。

2年間は予算を持たせない予定であったが、少し速いペースできており、今は少額ながら予算を持たせている。営業にとって欠かせない社員となっている。

品川さんなりの営業スタイルを確立していくことを期待している。

ハローワーク品川では、職種転換を検討している方に有効な職業訓練の相談や、体験型の面接会、入門セミナーやミニ会社説明会など、多くのイベントを行っています。どうぞご利用ください。

